

新火葬場の整備内容について

◆新火葬場整備検討の答申に関する基本事項

【施設の整備内容について】

1 施設整備のコンセプト

- (1) 基本コンセプト 建物・外構等に伴うコンセプト
- (2) 運営戦略 ターゲットの設定

2 市民が求める施設整備

- (1) 火葬炉設備 火葬の根幹となる設備
- (2) 待合スペース 会葬者の待合、休憩場所、その他
- (3) 式場 葬儀式場
- (4) 外構等 駐車場・緑地等及び建築デザイン

【施設の整備場所について】

3 施設の整備場所の考察

- (1) 評価項目による考察、提言

1 施設整備のコンセプト

(1) 基本コンセプト 建物・外構等に伴うコンセプト

ア 亀岡の自然を表現

亀岡の山並み、田園風景、亀岡の四季、保津川(の流れ)、森の中で送る霧の中に浮かぶ舟で故人を送る

イ 亀岡の多様性の尊重

ウ 開放感・調和のとれた空間の創造

エ 心静かに過ごせる空間の創造

夢の園 小鳥が囀る郷 瞑想の森

(2) 運営戦略 ターゲットの設定

亀岡市の需要を満たした上で、施設の容量範囲の中で以下の近隣市町からの需要を取り込むことを考慮した施設運営を検討するとともに、将来的な葬送観の変化を捉え、家族葬や直葬など小規模でコンパクトな葬送にも対応できる施設整備を図る。

ア 南丹市・京丹波町

イ 乙訓地域（向日市・長岡京市）

ウ 京都市西京区



亀岡市の需要を満たすことを基本とした施設運営を検討するとともに、将来的な葬送観の変化を捉え、家族葬や直葬など小規模でコンパクトな葬送にも対応できる施設整備を図る。

2 市民が求める施設整備

(1) 火葬炉設備 火葬の根幹となる設備

ア 火葬炉設備の検討内容

- ・設備の根幹となる火葬炉設備について、現在の社会情勢を見据えた内容とする。
- ・平成37年にピークを迎えるとされる死亡者数の増加を見据えた火葬炉を確保し、余裕ある運用が可能な設備とする。
- ・市民ニーズを考慮し、人体炉の他、動物炉の必要性を検討する
- ・火葬に係る動線等、会葬者が利用しやすい火葬炉設備とする。
- ・災害時等に対応可能な施設とする。

イ 現火葬場の火葬炉設備と新火葬場に必要と推測される火葬炉設備比較

火葬炉設備	内 容 等		備 考
	現火葬場	新火葬場	
告別室	—	2室以上	個人と最後のお別れを行う
炉前ホール			告別室から火葬炉へ送ることも可能なため、要検討
火葬炉	3基	5基	10体/1日最大の火葬能力増加予想の火葬件数に対応
収骨室	1室	2室以上	増加予想の火葬件数に対応
霊安室	—	1室	10体以上の火葬件数及び災害等に備える
動物炉	—	1基	社会情勢及び市民ニーズで必要

※運営戦略に基づき、火葬炉設備の内容については検討を加える。

(2) 待合スペース 会葬者の待合、休憩場所、その他

- ・現火葬場は収骨用待合室（個室）が1室あるが、会葬者の休憩を含めて、火葬の動線を通して利用できる待合スペースを確保する必要がある。

ア 待合ロビー

- ・待合ロビーを設置し、休憩場所等会葬者が利用しやすい設備とする。
30席～50席×2箇所程度

イ 待合室

- ・待合室は約50%が必要とされており、葬儀式場の設置と整合を図る等、検討を要する。

(3) 式場 葬儀式場

民間葬儀業者の利用状況から、式場整備は必要ない意見が多数であるが、病院から直葬といった葬送が増加する情勢を考慮し、式場のほか、多目的会場として使用が可能な施設の整備について検討を要する。

- ・多目的会場（席数は要検討）

※施設内に捉われず、敷地内に東屋風の設備設置も検討する。

(4) 建物及び外構等 駐車場・緑地等及び建築デザイン

建物については特色あるデザインが望ましいが、過度の経費負担を避け、実用性を兼ね備えた建物とし、周辺の景観に合ったデザインとする。

火葬場の名称を公募することも検討

3 施設の整備場所の考察（アンケート調査より）

【 整備検討箇所候補地（案）の概要 】

(1) 余部町丸山（都市計画決定）

- ア 南側に平和台公園、西側に丸山墓地、北側に国道（372号）に隣接し、静寂な森林の中に位置する。
- イ 当該地は平成10年3月に新火葬場整備用地として都市計画決定済みである。
- ウ 亀岡市域のほぼ中央部にあり会葬者の利便性に優れ、アクセスについても市内の主要道路（国道372号）に隣接し良好である。また、京都自動車縦貫道に近接しており市外からの利用者に対する利便性も見込める。

(2) 下矢田町地内（現火葬場用地）

- ア 昭和31年から市火葬場として使用している。当初は山間部に位置していたが住宅開発により現在は住宅等が近接しており、近隣住民に対する影響等を考慮する必要がある。
- イ、アクセスについては、比較的狭小な市道を通るルートであり、霊柩車及び会葬者が使用される大型車両（マイクロバス等）の通行には狭小であるため、道路の改修を行う必要がある。

(3) その他山間地等

- ア 先進地視察を通じては、人目につかないような静寂な環境の山間部や森林の中が相応しいと思われる。
- イ 会葬者の利便性の観点からは、市域の中央部が相応しいが審議会で場所を選定することは困難であり、市で選定願いたい。
ただし、新たな場所選定にあたっては、手続き等を含めて相当な時間を要するため、死亡者数がピークを迎える平成37年度の整備時期との整合が図れない可能性が高くなる。

新火葬場整備検討審議会

年度	審議会	開催時期	内 容	備 考
平成28年度	第1回審議会	平成29年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○委嘱状交付 ○委員紹介 ○会長、副会長の選出 ○諮問 ○今後のスケジュール確認 	
平成29年度	第2回審議会	平成29年5月16日	☆火葬場建設に向けた経過説明 (新火葬場予定地(都市計画決定地)等現地確認)	
	第3回審議会	平成29年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○他市先進事例等報告・情報共有 ○先進地視察先検討 	会長、副会長からの情報提供
	第4回審議会	平成29年8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ○先進地視察 <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫の丘斎場 ・篠山市営斎場 	
		平成29年9月～10月	先進地視察を受けての委員意向調査(アンケート形式による意見集約)	
		平成29年11月20日	《ワークショップ開催》	
	第5回審議会	平成29年11月29日	○亀岡市新火葬場整備検討(案)について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">平成30年度 当初予算案作成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">12月議会</div>
		平成29年12月中	事務局:中間案作成	
	第6回審議会	平成30年1月中	<ul style="list-style-type: none"> ○亀岡市新火葬場整備検討 <ul style="list-style-type: none"> ・中間案の修正 ・整備フローの確認 	パブリックコメント実施調整
第7回審議会	平成30年2月中	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">パブリックコメント実施(2/1～2/28)</div> <ul style="list-style-type: none"> ○亀岡市新火葬場整備検討 <ul style="list-style-type: none"> ・答申案の検討 		
第8回審議会	平成30年3月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ○亀岡市新火葬場整備検討 <ul style="list-style-type: none"> ・答申案承認 【答申】 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">3月議会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">平成30年度 当初予算案審議</div>	

【 評価項目による考察 】

評 価 項 目			余部町 丸山	下矢田町	その他
ア 交通の利 便性	広域的な 交通	京都縦貫道			
		主要幹線道路			
	市域内の 交通	市の中央部			
		主要幹線道路			
イ 基本コンセプトに ふさわしい立地	亀岡の自然				
	亀岡の多様性				
	開放感・調和				
ウ 施設規模・内容に見合 った立地条件	〇〇〇m ²				
エ 周辺環境との調和	住居地域との距離				
	公園等施設との連携				

上記の候補地の概要を踏まえ、評価項目による考察を行った結果、〇〇〇〇
が新火葬場に最も相応しい場所であると提言します。

